

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成31年4月23日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて、補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1. (1) 第5回原子力規制委員会が、明日4月24日水曜日午前中に開催される予定でございます。議題は5件予定されております。

まず、議題1「第8回主要原子力施設設置者（被規制者）の原子力部門の責任者との意見交換会を受けて－原子力エネルギー協議会（ATENA）について－」。こちらは、先週17日に開催されました、記載されております第8回主要原子力施設設置者の原子力部門の責任者との意見交換会、通称として「CNO会議」と呼んでおりますけれども、その意見交換の場で議題となりました原子力エネルギー協議会、略称「ATENA」につきまして、出席した委員から報告をいただき、委員会として御議論をいただくというものでございます。

次に、議題2「第8回主要原子力施設設置者（被規制者）の原子力部門の責任者との意見交換会を受けて－特定重大事故等対処施設について－」。こちらも同様の会議、第8回CNO会議で議論となりました、特定重大事故等対処施設の設置に向けた取り組み状況の問題につきまして、出席した委員から御報告をいただき、委員会として議論をいただくというものでございます。

次に、議題3「『原子力災害対策指針』及び『安定ヨウ素剤の配布・服用に当たって』の改正案に対する意見募集の実施について」。こちらは先般4月10日の委員会におきまして、本件、安定ヨウ素剤の服用等の問題についての検討チーム会合の報告書について、委員会に報告し、議論をいただきました。それを踏まえまして、原子力災害対策指針と、ここに記載のあります解説書の改正の案を取りまとめましたので、それについて委員会に御説明をし、パブリックコメントを開始することについて、お諮りをするというものでございます。

次に、議題4「京都大学に対する補助金交付決定取消の経緯と今後の対応について」。こちらは今月3日の委員会におきまして、原子力人材育成等推進事業に関しまして、京都大学への補助金の交付を取り消した旨、その際は口頭で報告をいたしました。そして、

改めて委員会に報告するというところになってございまして、これを受けまして、今回、本件の経緯及び原因、再発防止策について報告をし、また、他の事業に関する今後の対応の方針について御説明をして、御審議をいただくというものでございまして。

次に、議題5「『震源を特定せず策定する地震動に関する検討チーム』の検討状況について」。こちらは震源を特定せず策定する地震動に関して、検討チーム会合を開催して、検討を進めてきているところではございますが、そこでのこれまでの検討の状況及び今後の予定について、委員会に御報告をするというものでございまして。

次に、広報日程の2ページ目下段になります。4月25日木曜日、(6)第710回の審査会合、こちらが夕刻に開催される予定でございまして。審査の対象の案件は、1件予定されております。

こちらは合同の審査でございまして、伊方、玄海、川内、高浜、美浜、大飯の各発電所につきまして、内容はバックフィット関係でございまして、有毒ガス防護設備に関する設置変更許可の申請についての審査が行われる予定でございまして。こちらは前回の本件を扱った会合で概要を聞いておりますので、今回から内容の審査に入っていくという予定でございまして。

最後に、広報日程の3ページ目、4月26日金曜日、(7)第711回の審査会合が午後2時から開催される予定でございまして。議題は、記載されております2件の予定でございまして。

1件目が、日本原電株式会社の敦賀発電所の地震動評価についてということでございまして。こちらは、審査の途中になっておりました浦底断層の地震動評価の問題についてのコメント回答の予定でございまして。

次に、議題2といたしまして、北海道電力の泊発電所3号炉、こちらの敷地の地質・地質構造についての審査が行われる予定でございまして。こちらは前回の審査に引き続いて、F-1断層の活動性評価についての審査が行われる予定でございまして。

私からの御説明は以上です。

#### <質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

明日の原子力規制委員会、議題2についてなのですが、先日のCNO会議で、5原発10基について、1年から3年ですか、完成が遅れるというような報告が電力会社からあり、捉え方によりますけれども、事実上、もう少し考えてくれないかというような話だったように記憶しておりますが、一定の結論を出すところまで、明日は進むと考えてよろしいのでしょうか。

○大熊総務課長 今、御質問の中で言及いただきましたように、先週のCNO会議、これで特

重施設について、経過措置期間内の完成が間に合わなくなりつつあるという説明が事業者からあり、様々な点を考慮して、対応を検討いただきたいといったようなお話があったところでございます。

その場でも委員からコメントがあり、委員会で議論する必要があるという発言があったところでありまして、それを受けて委員会での議論を行うということでもあります。

今、事業者からそうした説明と要望を受けて、これをまず委員会で議論するという段階ですので、どこまでの議論になるかというのは、済みません、明日、委員の間での議論を聞かないとちょっと分かりませんが、事業者の要望を踏まえて、どう対応していくのかということについての議論があるということだと思います。

○記者 分かりました。

そうすると、ここで一応改めて全委員で議論して、継続してまた話し合いを続けるということもあり得るということですか。

○大熊総務課長 いろいろな可能性があると思いますが、済みません、申しわけありませんが、そこは委員の間での議論になりますので、明日の議論をぜひお聞きいただくようお願いしたいと思います。

○記者 ありがとうございました。

○司会 ほか、ございますでしょうか。カワダさん。

○記者 朝日新聞のカワダと申します。

議題4なのですけれども、今回は書面で報告とかをやって、今後の対応というのは、先日出た結論とはまた別のことを審議するということですか。

○大熊総務課長 こちらは先日の委員会では、本件を直接議題にしたというよりも、放射線安全規制の関係での事業の採択について説明する際に、京都大学がそこに入っているということで、口頭で急遽説明をしたというような状況でございましたので、明日の委員会では、京都大学に対していろいろ調査を行った結果を含めて、こちらの人材育成の事業についての経過・経緯を説明し、そちらについての対応、こちらはもう交付決定の取り消し自体は行っておりましたので、そこは変わりませんが、もう少し広く、今後どうしていくのかといった対応についても御説明し、また、きっかけになりました放射線関係の事業を含めて、その他の対応についても方針を御説明するという予定でございます。答えになっていますでしょうか。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。